



2013-2014 年度

国際ロータリー会長 / ロンド・バートン
2690地区ガバナー / 森本 信一

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

会長 / 飯塚 大幸 副会長 / 内田 節夫
幹事 / 佐々木 哲也 会計 / 石原 輝男

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
10月17日	青雲 光夫 様	阪神時代を振り返って
10月24日	議長 飯塚大幸	年次総会
11月7日	40周年実行委員会	クラブ協議会

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
42	29	13 (5)	78.38 %	82.05 %

欠席者

小汀 / 石原俊 / 釜屋 / 園 / 土江 / 三好 / 園山 / 大谷
(山根 / 牧野 / 木村 / 伊藤 / 遠藤)

来訪者 なし

メイクアップ

10/16 大島卓・高砂・遠藤・田中浩・持田稔・黒田(大社)

次回例会受付当番

(10月24日) 石原俊太郎 / 来間 久 / 牧野昭雄

(11月7日) 大谷良治 / 楨野良文 / 持田稔樹

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	10/21	12/9	12/30(休)	松江南
火	出雲	10/29	12/10	12/24(休) 12/31(休)	松江しんじ湖
水	大社	10/30(休)			松江
木					松江東 10/17
金	出雲南	10/18	11/1(休)		

会長挨拶

「スポーツの秋」

本日の例会卓話講師は、元阪神タイガース選手の青雲光夫様です。阪神タイガースで、思い出ことがあります。

私は中学時代、京都のある寺で小僧生活をしていましたが、当時の阪神タイガース監督・吉田義男さんが、私の師匠のもとへたびたびお見えになり坐禅などしていらっしやいました。

私は小僧であり、ただひたすらに美味しいお茶をお出しすることに専念していましたが...、講演の前に「要らぬ話し」をして失礼いたしました。

卓話を楽しみにしております。

秋も深まり、スポーツの季節になりました。過日は、出雲大学駅伝があり駒澤大学が優勝しました。

今月は、一畑薬師マラソンがありますし、各地でスポーツ行事が目白押しです。ロータリーでも、出雲中央ロータリークラブさんの企画で「全国ロータリークラブ親睦卓球大会」が11月23~24日に開催されるのはご案内の通りです。

我がクラブからも、団体1チーム、個人4名、参加予定の猛者があり、大変素晴らしいことと誇りに思います。

夜は、親睦懇親会もあるそうですので、日中都合の悪い私は、親睦会だけでも参加させていただきます。

当日、ご都合のつくお方は、是非今からでも間に合うそうですので選手参加、あるいは親睦会参加をご検討いただければと思います。よろしく申し上げます。

幹事報告

1. ガバナー森本信一様、地区大会実行委員長 浮田芳典様より、地区大会参加のお礼状を頂きました。
2. 出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会 会長 出雲市長岡秀人様より大会支援のお礼状を頂きました
3. 浜田 RC 会長 櫛山陽介様、幹事 矢口伸二様より 島根県西部大雨災害義援金のお礼状を頂きました。
4. 全国ロータリー親睦卓球大会 in 出雲(11/23・24開催) 出場選手の追加登録・親睦会(11/23 夕)参加を募っています。

スマイル

- 飯塚大・佐々木 (青雲様、本日のスピーチ宜しくお願い致します。)
原孝 (青雲さん面白い話ありがとうございます。)
杉原 (青雲先輩、スピーチ楽しみにしています。)
清原 (青雲様、本日は宜しく申し上げます。 阪神時代のエピソード楽しみにしております。)
河原 (子供の頃の青雲さんをなつかしく思い出しました。今日はようこそおいで下さりありがとう。優の医院へも遊びに行ってください。)
黒田 (今週は妻と冷戦状態です。巨人ファンと広島ファンと...カープがんばれ!)

スピーチ・例会行事

- 阪神時代を振り返って -

青雲 光夫様



私は、22年間阪神タイガースでお世話になり、45歳で右肘を悪くし引退をしましたが、大変良かったと思っています。今日は裏話も含めてお話をしたいと思います。

プロは厳しいが、練習量、努力と運により超一流となることが出来ます。二軍から一軍に上がるためには、球団の方針、足腰・肩の強さ、本人の努力、運、良き出会いなどが重なり合います。

良き指導者のもと育て方によって、平田からでもプロに充分なことができます。田舎はプロになりたい意識が薄く、他県ではもっと強い思いがあります。

平田からプロ選手がでるよう、これからは野球大会を数多く開催し、チームもたくさんつくり、地域の活性化にも寄与し、子供たちを大人のみんなで全力で後押ししていくことが大事ではないでしょうか。